

fuRo、パナソニックと次世代家電へ連携

NEWS CIT

2018
1.15

ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼
2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344

<http://www.it-chiba.ac.jp/>

毎月1回(8月を除く)15日発行

ニュースガイド

- 2面 三浦さん優秀講演賞/建部4人優秀賞/王さん学生優秀発表賞/米澤所長に大川賞/久保・山崎教授ら最優秀論文賞
- 3面 空手の三浦さん富永さん全日本制す/茜浜に新武道場/献血・清掃に表彰、感謝状/教育功労者表彰に3氏/吹奏楽部定期演奏会
- 4面 火星隕石放出メカニズムを解明/モンゴルで気球実験専用ゲル製作/からあげケン成層圏へ/ロボプロ全国大会開く/よさこい風神に特別賞、小学校によさこい伝授
- 5面 マルチブロックで地方創成/ロボット出前授業/校友「阿部吉平さん」
- 6面 12月オープンキャンパス、クリスマス・イルミネーション・イベント

ロボット技術を提供

本学fuRo(未来ロボット技術研究センター)と家電最大手のパナソニック(株)が共同で、次世代ロボット・家電などの製品化に取り組む「パナソニック・千葉工業大学産学連携センター」が12月13日、設立された。製品開発を前提として、大学が持つ先端技術の企業への提供を目的とするセンターの誕生は、国内では極めてまれなケースだ。

津田沼校舎内にセンター

センター長には古田貴之fuRo所長、副センター長にパナソニックア



記者発表で(左から)瀬戸熊理事長、洲上副センター長、古田センター長

■パナソニック(株) アプライアンス社 パナソニック(株)内にある4つの社内カンパニーの1つ。家電からオフィス・店舗に至る幅広い商品の開発・製造・販売を担っている。

「つくばチャレンジ」で完走した移動ロボットで、SLAMによる地図構築のデモを行った。

「つくばチャレンジ」で完走した移動ロボットで、SLAMによる地図構築のデモを行った。

「つくばチャレンジ」で完走した移動ロボットで、SLAMによる地図構築のデモを行った。

ライアンス社別項参照の川上英巳常務/技術担当(兼)技術部長が就任、津田沼キャンパス7号館1階に研究・開発拠点が新設された。連携センターの設立はfuRoが持つ最先端のロボット技術・知能化技術と、それを統合した完成度の高いロボット開発能力に着目したパナソニック側からの本学への働きかけで実現した。fuRoの研究・開発力とパナソニックが持つ信頼性の高い家電製品の企画・開発力を融合し、アイデアの創出から具現化、製品化に向けた技術開発に、両者が共同で取

り組んでいく。連携第一弾は、fuRoが開発した「Scan SLAM」と呼ばれる高速空間認識技術を活用した次世代ロボティクス家電の製品化とすることで両者が合意している。SLAM (Simultaneous Localization and Mapping) とは、レーザーやカメラなどのセンサー情報を解析して自己の位置を推定しつつ周囲の地図を構築する、自動操縦やロボットにおける「人間の目」の役割に相当するコア技術。移動ロボットの自律走行技術を実証する「つくばチャレンジ」などで鍛え上げられたScan SLAMは、世界トップレベルの高性能を有している。これまでの大学と企業との産学連携では、基礎研究などのR&D(研究開発)を目的とするケースが圧倒的だ。それに対して、本学とパナソニックの今回の取り組みは、

「つくばチャレンジ」で完走した移動ロボットで、SLAMによる地図構築のデモを行った。

「つくばチャレンジ」で完走した移動ロボットで、SLAMによる地図構築のデモを行った。

「つくばチャレンジ」で完走した移動ロボットで、SLAMによる地図構築のデモを行った。

「つくばチャレンジ」で完走した移動ロボットで、SLAMによる地図構築のデモを行った。



「つくばチャレンジ」で完走した移動ロボットで、SLAMによる地図構築のデモを行った。

「つくばチャレンジ」で完走した移動ロボットで、SLAMによる地図構築のデモを行った。



「つくばチャレンジ」で完走した移動ロボットで、SLAMによる地図構築のデモを行った。

「つくばチャレンジ」で完走した移動ロボットで、SLAMによる地図構築のデモを行った。

「つくばチャレンジ」で完走した移動ロボットで、SLAMによる地図構築のデモを行った。

「つくばチャレンジ」で完走した移動ロボットで、SLAMによる地図構築のデモを行った。

「つくばチャレンジ」で完走した移動ロボットで、SLAMによる地図構築のデモを行った。

「つくばチャレンジ」で完走した移動ロボットで、SLAMによる地図構築のデモを行った。

「つくばチャレンジ」で完走した移動ロボットで、SLAMによる地図構築のデモを行った。

三浦さん 優秀講演賞

こけら葺き屋根 漏水危険度判定の研究

日本材料学会関東支部の2017学生研究交流会(昨年10月28日、東京都千代田区の上智大四ツ谷キャンパスで開催)で、三浦大和さん(建築都市環境学専攻修士1年、石原沙織研究室)が「こけら葺き屋根の表面凹凸が雨水排水に及ぼす影響」をポスター発表し、優秀講演賞を受賞した。



こけら葺き屋根は、経年劣化で板表面に凹凸ができ、漏水を招く恐れがある。三浦さんらは、表面凹凸が雨水の排水特性に及ぼす影響を調べた。

漏水量を測定。▽切り欠きの大きさ▽板同士の間隙▽材料自体の濡れやすさの3つの組み合わせの影響を明らかにした。こけら葺き屋根の漏水危険度を判定する基礎データとして活用されることを期待される。得られた知見を、正しい

王さん 学生優秀発表賞

より効率的な画像圧縮手法を発表



映像情報メディア学会の年次大会2017(昨年8月30〜9月1日、東京理科大学葛飾キャンパスで開催)で、王翼さん(情報科学専攻修士課程3年、八島由幸研究室)が「マルチクラスK-SVD画像圧縮におけるスパース係数のエン

トロピ符号化」を発表し、学生優秀発表賞に決定。12月12日、早稲田大西早稲田キャンパスで授賞式があった。画像圧縮技術で、JPEGやMPPEGに使われるDCT(離散コサイン

変換)よりも効率的として提案されているマルチクラスK-SVD(特異値分解)について研究した。研究を多くの人に評価していただけ自信になりました。石原先生、先輩ら多くの方々のご指導・助言のおかげで、感謝しています」と語った。

建都院生4人 優秀賞

「表参道のcafe」提案 ヒューリック学生コンペ

東京・表参道を代表する新建築を募集した第5回ヒューリック学生アイデアコンペは昨年10月15日、主催のヒューリック(株)本社(東京・日本橋大伝馬町)で公開2次審査が行われ、「表参道のcafe」を提案した本学の4人チームが、最優秀賞に次ぐ優秀賞3作品の1つに選ばれた。



「表参道のcafe」(中央)と受賞した4人。(前列左から)川合さん、嶋田さん、(後列)岸田さん、小池さん



4人は川合豊さん(建築都市環境学専攻修士2年、遠藤政樹研究室)、嶋田緒音さん(同)、岸田和也さん(同)、石原健也(研究室)、小池翔太さん(建築都市環境学専攻修士4年、遠藤研究室)。

「T H E表参道」を提案するもの。4人はケヤキ並木の下のベンチから着想を広げ、交差点に高さ80分の眺望に身体をおく感覚

を持てる。交差点にいる人々からは、建物が薄いのので内部の人の行動が建物を通して見えるように見える。側面には電光掲示板の機能を持たせた。

10月に1次審査通過10組が公開プレゼンテーションし、受賞が決定した。応募総数は1888点

コンペは不動産会社のヒューリックが2013年から毎年開き、年ごとに「有楽町」「渋谷」「横浜」「浅草」……と、実際に存在する場所を対象敷地としている。

久保・山崎教授ら 最優秀論文賞

開発計画の成功・失敗事例可視化



山崎教授 久保教授

日本生産管理学会などが開いた第3回生産管理国際大会(ICPM2017)昨年9月7〜11日、タイ・バンコクのアサンション大で開催)で久保裕史・プロジェクトマネジメント学教授と山崎晃・金融・経営リ

スク科学科教授らが発表したマネジメント工学に関する論文が最優秀論文賞を受賞した。標題は「Empirical research on quantitative evaluation by the modified magnetic model for the R&D

プロジェクトマネジメントのための磁性モデルを応用した定量評価モデルの実証研究」。林田秀樹・大阪大学大学院招聘准教授、船島弘紀・神戸大学大学院特命講師と連名で発表した。

内容は、特定の研究開発プロジェクトの成功・失敗事例のデータ上の特徴を、磁性モデルを応用した分析手法で定量的に区別し、可視化できることを明らかにした。新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)のプロジェクトに採択された追跡評価調査に関し、参加大学が集めた大規模データを使ってシ

ミュレーション。従来困難とされてきた「事業化に成功する研究開発プロジェクト」と、企業の経営指標や組織・文化との関係性を可視化できることを示した。

情報通信分野で顕著な社会的貢献をした研究者に大川情報通信基金が贈る2017年度(第26回)大川賞に昨年11月7日、本学人工知能・ソフトウェア技術研究センター(STAIR Lab IIステアラボ)の米澤明憲所長と写真と米伊リノイ大アーバナシヤンペーン校名誉教授のD・Jクック博士が選ばれた。米澤所長の受賞理由は



米澤所長の受賞理由は「並行オブジェクト指向計算モデルの提唱と、これに関する理論から実践にわたる先駆的な研究開発」に対して。

並行オブジェクト指向計算の考え方は、今日のスーパーコンピュータなど

を包含し、分散コンピュータにおけるプログラム開発手法の礎の一つとなっており、欧米をはじめとする第一線の研究者に直接的・間接的に大きな影響を与え、また実用にも多く供されている。米澤所長は東京大、マサチューセッツ工科大を経て東京大情報基盤センター長、理化学研究所計算科学研究機構副機構長などを歴任。2015

「並行オブジェクト指向計算モデルの業績で

米澤所長に大川賞

を提案したこと、発表内容を理解しやすい論理で展開したと評価された。100件余の応募講演中、6人が学生優秀発表賞に選ばれた。

王さんは中国・哈爾濱市出身で「賞が頂けたことを大変うれしく思いま

ンバーたちに深く感謝いたします。受賞をステツプに、研究をより深めていきたい」と語った。

空手 三浦さん 富永さん 全日本制す

女子個人組手 理工科系大学選手権



優勝盾、準優勝盾を手に三浦さん(左)と富永さん

本学空手道部に2人し
かない女子部員・三浦
彩さん(プロジェクトマ
サイン科学科1年)が、

第30回全日本理工科系大
学空手道選手権大会(昨
年11月26日、東京・代々
木の国立オリンピック記
念青少年総合センターで
開催)の女子個人組手
で、そうって決勝戦に進
み、三浦さんが優勝、富
永さんは準優勝と大会を
制した。2人は高校時代
から頭角を現した期待の
1年生だ。

三浦さんは千葉県・拓
殖大学紅陵高校出身。小
学4年の時一男の子にけ
んかで負け、強くなりた
くて空手を始めた。熱
くなりすぎず、冷静な組
手を心がけ、第48回関東
空手道選手権では千葉県
代表選手に選出。本学で
先輩でもある根本敬介監
督(平成15年P.M.学科
卒)の指導のもとで、富
永さんとともに、集中力
と気迫を切らさないよう
練習に励んでいる。



西浜運動施設に昨年11
月9日、新たな武道場が
完成した。
鉄骨造り平屋建てで、
建築面積547.55平方
米、延床面積533.47
平方メートル。道場、更衣室、
ミーティングルーム2
室、倉庫3室が設けられ
た。道場を中心に西側に
女子更衣室、東側に男子
更衣室を配置。導線を明
確にしプライバシーに配
慮した。

西浜に新武道場

12月16日には、道場開
きが厳かに執り行われ、
小宮一仁学長、前田修作
大学事務局長、相川文弘
空手部長(工学部教育セ
ンター教授)ら大学関係
者と日本空手協会の代
表、空手部後援会、空手
部OB・OG習志野会の
会員、牧野樹主将以下の
現役部員など総勢約60人
が出席。部創設者で昭和
31年卒、習志野会最高顧
問の高浦英児氏も87歳と
は思えない元気な姿を見
せた。

神事は、正面に伊勢神
宮から拝領した御札が納
められた神棚と日の丸を
前にして進められた。横
の壁には第7代理事長・
川島正次郎氏の『眞實一
路』の書の写しが掲げら
れている。

参加者代表12人の玉串
奉奠など一連の神事の後
は、現役部員とOBの合
同稽古と記念の演武会、
授与式では、高校生の
時に白血病を発症し輸血
を経験、現在アイドルと
して活躍している友寄蓮
さんの体験を映像化した
「ありがとうの手紙F
rom 献血で救われた
いのち」が紹介された。
式に出席した学生たちは
学生審査会。ぴんと張り
詰めた空気の新道場に、
白の道着に身を包んだ参
加者の裂帛の気合が響き
渡っていた。

分厚い杉板の試割で
は、高浦氏が見事な正拳
突きを見せて盛大な拍手
を浴びた。

会場を新習志野キャン
パスの食堂棟に移した直
会では、昨年8月にアイ
ランドで開かれた日本
空手協会主催の「船越義
珍杯第14回世界空手道選
手権大会」の一般男子個
人組手で準優勝した岡田
泰典さん(平成19年卒)
が大会報告を行った。

回全日本大学空手道選手
権で、3人枠で出場する
女子団体組み手に2人き
りで出場。2人とも勝た
なくては上位へ進めない
厳しい条件で、惜しくも
1回戦で敗退した。

三浦さんは今回の優勝
に「上を目指し、更に高
い意識を背負いたいと思
います。勝つだけでなく、
相手を敬う気持ちや礼儀
を忘れず稽古を頑張りま
す!」。

富永さんは「自分のス
タイルをこれと決めたら
貫き通したい。これから
春合宿や新メンバーも入
ってくるので、もっと強
いメンタルをつけなくて
は。新武道場ができ、練
習しやすくなってよかつ
たと思います」とコメン
トした。

体育会の献血、学友会の清掃

活動に表彰、感謝状

「献血活動が役立ってい
ることを改めて実感しま
した。今後も継続してい
きたい」と話していた。
一方、学友会が「クリ
ンウィーク」を設け、
期間中のクリーンデーに
津田沼駅や新習志野駅周
辺の清掃美化に努めてい
ることに11月10日、
JR東日本から学友会執
行委あてに感謝状が贈ら
れた。

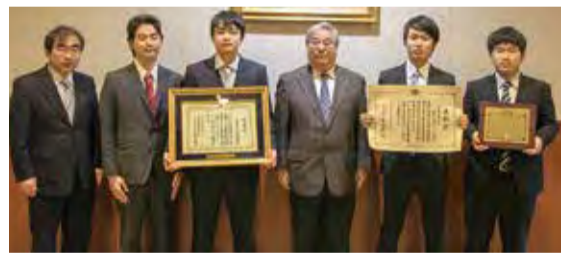
昨年末は12月4〜22日
をクリーンウィークとし、
最後は12、13日に学
内と駅周辺を清掃。キャ
ンパス内のポイ捨てごみ
は1日集めただけで、ご
み袋いっぱいになった。
学友会の環境美化実行委
は今後も有志に参加を呼
び掛け、清掃活動を続け
ていく予定だ。

写真は清掃活動で表彰
された長瀬貴弘さん(左
から2人目)、中川原慎
行。

吹奏楽部は学位記授与
式や入学式など大舞台の
ほか地域活動にも参加。
昨年は新習志野駅前のフ
ラッシュモブに挑戦。12
月オープンキャンパスで
は、ソリー点灯式で演奏
を披露した。

定期演奏会は1年の活
動の集大成で、引退する
3年生部員には最後の舞
台。▽オリエント急行▽
ウィズ・ハート・アンド
・ヴォイス▽「アナと雪
の女王」よりシンフォニ
ック・ハイライト▽英雄
の証〜モンスターハンタ
ーより〜などを演奏
し来場者を楽しませた。
アンコールの「宝島」
では、全員がダイナミックなパフォーマンスと演
奏で会場を沸かせた。

来場者らは「毎年楽し
みにしている。今年は力
強い演奏が印象的だっ
た」などと話していた。



平さん(同3人目)、小宮
一仁学長を挟んで、献血
活動で表彰された渡壁一
樹さん、植木脩平さん

毎冬恒例、文
化会吹奏楽部
(澤田翔部長、
機械サイエンス
学科3年)の定
期演奏会が12月
27日、津田沼校
舎向かいの習志
野文化ホールで
開かれた。写真

定期演奏会は1年の活
動の集大成で、引退する
3年生部員には最後の舞
台。▽オリエント急行▽
ウィズ・ハート・アンド
・ヴォイス▽「アナと雪
の女王」よりシンフォニ
ック・ハイライト▽英雄
の証〜モンスターハンタ
ーより〜などを演奏
し来場者を楽しませた。
アンコールの「宝島」
では、全員がダイナミックなパフォーマンスと演
奏で会場を沸かせた。

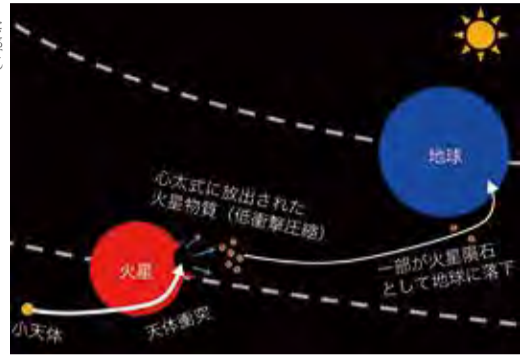
来場者らは「毎年楽し
みにしている。今年は力
強い演奏が印象的だっ
た」などと話していた。

火星隕石 放出メカニズムを解明

ところてん式加速で惑星間を移動



火星から地球に飛来した「火星隕石」について、惑星探査研究センター（PERC）の黒澤耕介研究員、岡本尚也研究員と玄田英典・東京工業大地球生命研究所特任准教授は、天体衝突で高衝撃圧を経験した火星深部の岩石が、浅部の低衝撃圧に受け代わらない岩石



を心太式に押し出し、火星隕石が放出されることを発見した。これは天体衝突によって、天体衝突時に約30〜50万気圧の衝撃圧を経験したことが分かっている。しかし、衝撃物理学では、比較的低い衝撃圧(30〜50万気圧)なのに、なぜ火星重

間の物質輸送が従来の見方よりも容易に起こることを予想させる。PERCが12月5日、公表した。火星隕石は分析によって、天体衝突の直下点近くの物質の流れを、過去の研究よりも10倍以上高い空間解像度で解析。その結果、高衝撃圧を経験した深部の岩石が、浅部の低衝撃圧しか受けていない岩石を心太式に押し出すメカニズムを発見した。

上図を参照。岩石の分析結果と衝撃物理学の矛盾が解消された。この発見は、比較的浅部の岩石が、考えられてきたよりも容易に惑星間を移動可能なことを予想させるもの。低衝撃圧下の岩石中には微生物が生

き残る可能性があるため、地球外で発生した生命が地球に飛来した可能性(パンスペルミア仮説)にも新たな展開をもたらすと考えられる。今後は、PERCに設置されている2段式水素ガス銃で衝突実験を行う

い、放出メカニズムをさらに解明していく。この成果は、欧州科学誌「イカロス(Icarus)」電子版と2月1日発行号に掲載される。

ロボプロ全国大会開く

18歳以下 3部門で熱戦

未来ロボット技術研究センター（furo）の古田貴之所長を審査委員長として、18歳以下の中・高校生などが卓越したロボット技術を競う「第1回ロボプロ全国大会」が12月2日、東京スカイツリータウンキャンパス

を会場に開かれた。小・中学生のためのロボット教室を全国的に展開し、約1万8000人の受講生を抱えるヒューマンアカデミー(株)本社・東京都新宿区IIが主催。この教室には未就学児から始まって生徒の学

年に合わせて5つのコースが設けられている。この中で、小学校高学年から中学生を対象とする最上級のロボティクスプロフェッサーコースの教材やカリキュラムなどは、古田所長が監修・アドバイザーを務め、furo



同コースの受講生は現在約600人。今回のロボプロ全国大会は同コースの受講生や修了生を対象に、地方予選を勝ち抜いてきた15人が、①ライントレース(8人)②フリー走行(4人)③創作ロボット(3人)の3部門で熱戦を繰り広げた。出場作品はどれも高レベルの作品ばかり。ライントレース部門は中学生の作品、フリー走

行部門は13歳の男子II写真前列左IIが作った「種まきロボット」が優勝。なかでも圧巻は、創作ロボットコースに優勝した17歳男子の「ジャンプするカエルロボット」。油圧を使わずに12個のサーボモーターを同時に動かして、カエルを屈伸姿勢からジャンプさせるシステムに、古田所長も舌を巻いていた。奥村悠一UROR上席研究員も審査員として参加した。

世界初 気球実験専用「ゲル」

PERCCがモンゴルで製作

秋山演亮(あきやまのぶ)主席研究員をプロジェクトリーダーとする惑星探査研究センター（PERC）のチームは昨年末、モンゴル遊牧民の伝統的な移動式住居「ゲル」を、成層圏での宇宙塵採集のための気球の放球基地とする世界初の実験を行い、成功したII写真。



PERCCは2016年6月からモンゴル工業技術大（IET）と共同で、同国の平原で放球実験を続けてきた。この実験はヘリウムガスを詰められたゴム製の気球に、宇宙塵採集装置や送信機などを取り付けて成層圏まで

上昇させ、気球が気圧低下によって膨張・破裂した後、パラシュートで地上に落下した装置を回収する。広大な平原で装置を確保に回収するためには、狙った位置にできるだけ正確にパラシュートを落下させることが望ましい。そのためには放球前に気球の浮力を調整し、

風に・風速などに合わせて放球位置を移動するなどの操作が必要だ。平原を転々と移動するために組み立て・解体が容易なうえ、円形で内部に仕切りがないゲルの室内は、無風下での作業が望ましい気球へのガス充填に最適というわけだ。モンゴル側のスタッフ

の手で製作された実験用ゲルは、モンゴルの人たちが住居として使っているもののざっと2倍の大きさ。頂点部には直径約5mの天窓が開いており、気球を直接放球できる。PERCCのチームはIETの「からあげクン」の人気商品「からあげクン」のキャラクターぬいぐるみが、PERCCの気球で成層圏へ運ばれる動画がネットにアップされたII写真II子どもたちへの「千葉工業大」のアピールに一役買っている。昨年12月5日に発売された「からあげクン」のキャラクターぬいぐるみは、成層圏に到達した後に、正確に落下目標地点に着陸。PERCCのもつ気球飛行シミュレーションのノウハウと通信機器の信頼性を証明する結果にもなった。

本学体育会よさこいソールン風神部(武田光太郎)が、第18回東京よさこい(昨年10月7、8日、東京・池袋駅西口周辺でIIふくろ祭り協議会主催、豊島区・東京芸術劇場共催、東京都など後援)で力強い演舞を見せ、特別賞(那珂川町長賞)を受賞した。池袋駅周辺を盛り上げる「ふくろ祭り」は今年が50周年。大賞(東京都知事賞)を目指し全国が

ら「よさこい」110チームが参加した。本学風神チームは、夢にひたむきに生きる海賊をテーマにした曲目「帆舞れ」を披露。チーム全員が若さあふれる思い切りのよい体のキレを見せ「力強い演舞で観客を魅了した」と審査員たちに称賞された。風神チームは第15回(平成26年)では豊島末来賞(立教賞)、第17回(同28年)でも企業賞(三菱地所株式会社賞)を受賞している。

2週間後の運動会当日、応援に駆けつけた学生たちは、児童らの演舞に「短期間で成長がすごい!笑顔で一瞬懸命踊っているのが可愛かった。アレンジも加えてあってよかったと喜んだ。

よさこい風神 特別賞

第18回東京よさこいで力強い演舞



よさこいソールン風神部は、柏市立第五小学校の依頼で昨年8月25日と30日、同小教員5人を新習志野キャンパスに招き、演舞を指導した。同小では「危険」と中止が相次いでいる運動会の組体操に代わる競技はないか? 楽しく、見た目も魅力的な……とウェブで検索。本学よさこいソールン風神部の演舞が目にとまり、講師を依頼してきた。部員たちは、小学生も簡単に踊れ、見栄えがして、楽しい振り付けにしたいと試行錯誤し、振り付けを提案。ぎこちない動きの先生方も徐々に振り付けをマスターした。

マルチブロックで地方創生

「御宿こども工務店」建都3年87人が参加

杉板製の貴の子を二重に重ねたような形状の「マルチブロック」を、

「マルチブロック」を、

の取り組みで、昨

に加盟している建築

こうして出来上がった



子どもたちとマルチブロック作り



旧岩和田小の校庭で記念撮影

台、ジャンクルジムな

の活動は、御宿町にと

ロボット出前授業

香取市の小学校で総合工学研、入試広報課

県内の香取市立小見川

同小体育館中央にロボ

トが機敏に動く、喜び

ロボットの説明が始まると

ロボットの説明が始まると

科学技術を身近に感じ

「ロボットを操縦して

ロボットの説明が始まると

ロボットの説明が始まると

ロボットの説明が始まると



作期間や製作費を質問さ

活躍する 校友

株式会社阿部重組社長

阿部 吉平さん (44歳)

(平成13年、建築学科博士前期課程修了)

ときに28歳。青森市で生まれた。図工・美術やものづくりが好きで、公立進学校を1992年に卒業、仙台市で1浪生活を送った。ある日、受験熱をパッタリ失い、翌年には都内にアパートを借りフリーターへ。怒る父とは絶縁状態になり、母からの内緒の仕送りにバイト代を足して1年9カ月間ほどマイペースの日々を送った。

も飛ぶ。仕事のグチをこぼす人、説教好きな年長者とさまざま。「面白かった。人間観察の場でもあった。津田沼キャンパスに近いアパートを借り、昼はバイト、一方でヘビメタ同好会に加わり、ギターで絶叫した。建築の楽しさに開眼した阿部さんは、よき指導教官をえて「特訓」のすえ大学院入試にパス。当代の人気建築家を学内に招いてフォーラムを開き、長野県で山林保存の合宿をしたりと学生気分を満喫したという。わが国初期の鉄筋

もらい、得意先へのあいさつでは100枚の名刺が消える日も。「初めの1年はおじぎのしっ放しで、コルセットをはめるほど腰が痛くなった」。なかには「10年かけ半人前になるつもりで頑張りなさい」と親切な助言もあり、設計以外の建築専門書を貪り読んだ。

「他分野の知も」いきなり社長！奮闘16年



「人と出会う旅もよい」と阿部さん

れ」が流行語になったのは94年。翌95年には阪神・淡路大震災(1月)やオウム真理教地下鉄サリン事件(3月・東京)だ。漠たる不安から21歳の阿部さんは「学び直し」を決意。「建築をやる」と試験科目や日程から選んだのが本工学部第二部建築学科だった。先祖のDNAが騒いだのか。夜の教室に集まる会社から直行背広組や大卒資格を目指すヤンキーたち。授業のあと、「飲みに行こう！」の声

住宅「同潤会アパート」の歴史や設計をテーマに研究をまとめ、2年間の院生活を修了。友人3人と大学近くでデザインスタジオを共同創業して半年ほどたったとき受けたのが父の訃報であった。

「自戒を込めて言えば、とまかく学ぶこと。専門領域はもちろん、人文系の哲学や思想についての知は社会へ出て意外に効いてきます。学内の他分野との交流、人と出会う旅もよい」。現役学生に対する盛りだくさんの注文だ。妻と息子の3人家族。

入試準備と、クリスマスと

12月オープンキャンパス イルミネーション・イベント

今年度最後のオープンキャンパスが12月10日、津田沼校舎で開かれた。市民向けクリスマス・イルミネーション・イベントも同時開催され、受験生と地域の市民約1060人が足を運んだ。

大学側は入試シーズン突入直前の受験生のために入試ガイダンスや受験対策講座・数学、英語を開講。2号館3階大教室では学科相談会や「在校生に聞いてみよう!」「進学相談コーナー」を

開き、志望学科やキャンパスライフ、入試方法などのさまざまな質問に対応した。初めて大学を訪れる高校

受験へ間がある高校生たちは本学施設や学科、大学生活を紹介する講座に参加、またはコンピ

ュータ演習室や作業センターでのものづくり体験に挑戦して楽しんだ。大教室に隣接するホワイエ(通路のたまり場)は、学生企画のCIITスポットで、来場者は写真で見

る千葉工大生の「キャンパスライフ」をじっくりと見て回っていた。来場した生徒・市民からは「学生スタッフ、先生方が優しかった」「いろいろな体験ができて楽しかった」などと、たくさん

の感想が寄せられた。クリスマス・イルミネーション・イベントは、7号館4階を中心に以下の催しが展開され、近隣市民たちは少し早いクリスマス気分を楽しんだ。

▽制作コーナー(ミニツリ、キャンドル、動くおもちゃ、パスタチャレンジ、合格祈願クリスマスリース……)▽サイエンスショー▽ロボット操縦体験▽ロボティクス・メディア・アート▽コ

マ大戦▽オセロ名人に挑戦……。夕闇が迫る中庭では、巨大ツリーの点灯式が行われ、色とりどりのLEDライトに照らされながら、吹奏楽部がクリスマスソングを演奏した。

市民たちは「イルミネーションを毎年、楽しみにしていました」。寒空の下の演奏には「大変でしように。心温まるサプライズ」と感激の声を寄せていた。



受験生のための入試ガイダンス



キャンパスツアー



コンピュータ演習室



オセロ名人に挑戦



動くおもちゃコーナー



吹奏楽部が中庭でクリスマスソングを演奏



作業センターでプチワークショップ

「今日も色々あって疲れ

編集だより



心地向い暮らし…を表現するためのちょっとした日々の努力を怠ってしま

った旧年中。反省……。思い起せば、自分の好きなことだけどわーっと実行して、そのたびに

「今日も色々あって疲れ

一年だったと気づく。ひとつひとつの行事には深い意味が込められて

明けておめでとうござい

四季雑感



迎えた新成人のみなさん、おめでとうございま

す! 我が家にも昨年の夏頃から、様々な振袖のカタログが頻りに届くよ

うになりました。でも長女は3月で18歳。また先

の話と、カタログを捨てていたところ「私の振袖

のカタログ知らない?」

と長女が聞いてきた。「もう見るの? まだ早いから捨てちゃったよ」と答えると「えーっ!

急がないと良いもの無くなっちゃう!」……でも成人式は再来年。そんなに早く準備したかな? と考えていると「あっ!でも、お母さんの成人式の振袖があるよね? 今度それも見せてね。いい感じだったから、その振袖でもいいかな」と……いつの間

PPA



の日は一方では私たちに

とほいたい何なのかと問われると簡単には答えられませんが、時間のことに限らず、私たちには、何をする場合にも、気にとめることもなく受け入れて